

伊那市地域公共交通会議
伊那市地域公共交通協議会 次第

日 時 令和7年6月26日(木)
午前1時30分から
場 所 伊那市役所 多目的ホール

1 開 会

2 会長挨拶

3 会議事項

(1) 令和6年度事業報告及び決算報告について (資料1)

(2) 令和7年度事業計画(案)及び予算(案)について (資料2)

(3) 令和8年度地域公共交通計画認定申請について (資料3)

(4) 高遠線地域間幹線系統別確保維持計画について (資料4)

(5) 伊那市地域公共交通計画事業評価について (資料5)

5 そ の 他

みすずハイウェイ利用状況について (資料6)

藤沢線・長谷線の運行について

6 閉 会

伊那市地域公共交通会議・伊那市地域公共交通協議会 委員名簿

役職	選出区分	所属	職名	委員氏名	
委員	一般乗合旅客自動車運送事業者その他の一般旅客自動車運送事業者及びその組織する団体	伊那バス株式会社	管理部長	福 澤 信 義	
委員		ジェイアールバス関東株式会社 伊那支店	支店長	西 津 芳 則	
委員		長野県タクシー協会 諏訪上伊那支部	伊那タクシー株式会社 常務取締役	小 松 直 樹	
委員	一般乗合旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者が組織する団体	伊那バス労働組合	自動車対策部長	服 部 雅 明	
委員	住民または利用者の代表	伊那地区区長会		明 尾 正 行	監査員
委員		高遠町地区区長会		伊 藤 茂	
委員		長谷地区区長会		中 山 義 文	
委員		伊那市女性団体連絡協議会		橋本 けさち	
委員		伊那市高齢者クラブ連合会	女性部副部長	仲藤 伊久江	
委員	北陸信越運輸局長またはその指名する者	北陸信越運輸局	交通企画課長	新 倉 孝 礼	
委員		北陸信越運輸局長野運輸支局	首席運輸企画専門官	山 岸 康 範	
委員	道路管理者	長野県伊那建設事務所	維持管理課長	丸 山 真	
委員	長野県警察	伊那警察署	交通課長	伊 藤 伸 一	
委員	学識経験者	信州大学	工学部 准教授	高 瀬 達 夫	
委員	その他必要と認める者	長野県企画振興部交通政策局	交通政策課長	丸 山 正 徳	
委員		長野県上伊那地域振興局	企画振興課長	中 谷 俊 禎	
委員		伊那市社会福祉協議会	地域福祉課長	池 上 修	
委員		伊那商工会議所	専務理事	坂 下 武 志	副会長
委員		伊那市観光協会	常務理事	伊 藤 隆 博	監査員
委員	伊那市職員	伊那市	企画部長	飯 島 智	会 長

令和 6 年度 伊那市地域公共交通協議会 事業報告

1 伊那市地域公共交通協議会の開催

(1) 第 1 回伊那市地域公共交通協議会 (R6.6.21 書面協議)

(協議事項)

地域公共交通確保維持事業に係る計画について

(2) 第 2 回伊那市地域公共交通会議・伊那市地域公共交通協議会 (R6.7.12)

(協議事項)

令和 5 年度事業報告及び決算報告について

令和 6 年度事業計画及び予算について

協議会路線バス停の移動について

長谷循環バスの路線名およびバス停の名称変更について

EV バス導入について 報告

(3) 第 3 回伊那市地域公共交通会議・伊那市地域公共交通協議会 (R7.1.10 書面協議)

(協議事項)

茅野・藤沢線名称変更について

地域公共交通確保維持事業の事業評価について

(4) 第 4 回伊那市地域公共交通会議・伊那市地域公共交通協議会 (R7.2.20)

(協議事項)

令和 6 年度運行状況について

令和 7 年度運行計画について

伊那市地域公共交通会議設置要綱の改正及び運賃協議会要領の制定について

高遠線の運行について

2 交通ネットワークの構築・運行

【循環バス、乗合タクシーの運行】

- ・市街地循環バス
- ・市内西循環線
- ・若宮・美原線
- ・西箕輪線
- ・藤沢線
- ・長谷線
- ・ぐるっとタクシー

3 運行内容の検証・検討

ぐるっとタクシーのNG率低減への取り組み

- ・お昼の休憩時間短縮のため、1台2人体制とした（南部エリアの2台）
- 市街地循環バスにEVバス導入（R6.8月19日 出発式）

4 その他（伊那市：定住自立圏事業）

- ・伊那本線の運行
 - ・市街地デジタルタクシーの横展開
- R5.10月～ 箕輪町
- R6.7月～ 茨城県鉾田市
- R7.4月～ 茨城県大子町

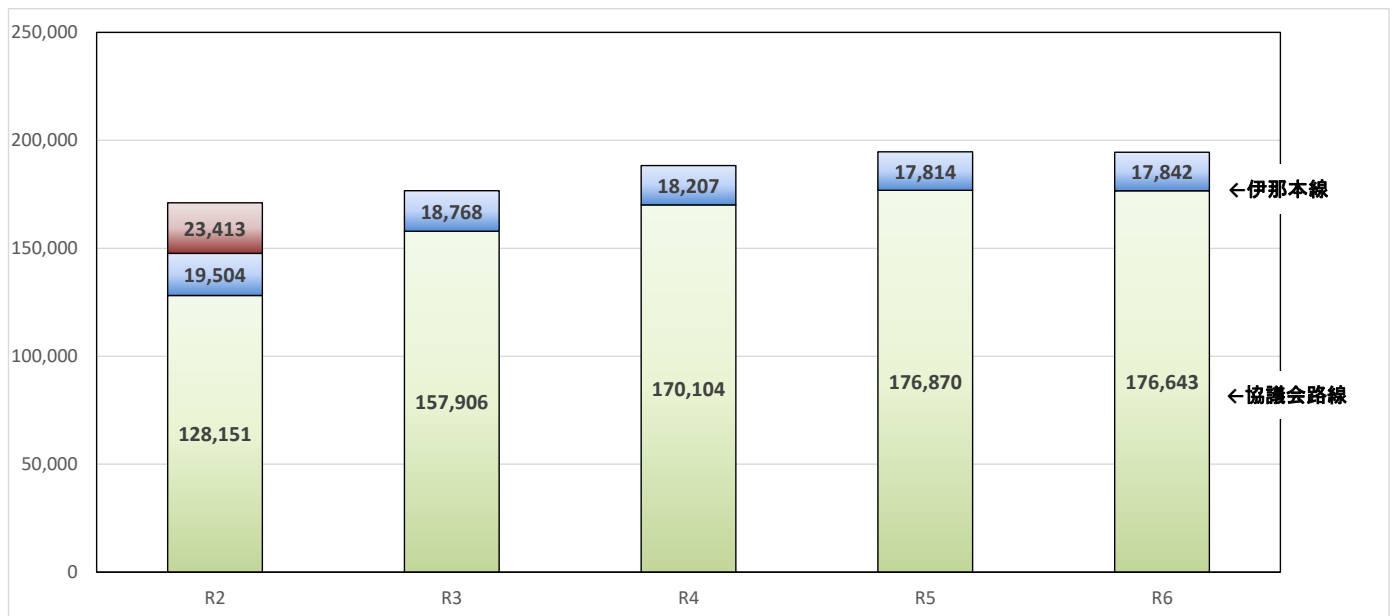
令和6年度伊那市地域公共交通協議会路線及び定住自立圏路線 利用状況

路線等名称		総利用者数（人）		
		R6年度	R5年度	比較 R6－R5
協議会路線 循環バス等	市街地循環バス（外回り） 「イーナちゃんバス」31便	54,511	53,839	672
	市街地循環バス（内回り） 「イーナちゃんバス」17便	24,951	25,240	▲ 289
	市内西循環線	10,278	10,176	102
	若宮・美原線	13,081	13,023	58
	西箕輪線	31,928	32,451	▲ 523
	藤沢線	8,854	9,256	▲ 402
	長谷線（長谷循環バス）	3,743	3,400	343
バス路線計		147,346	147,385	▲ 39
ぐるっとタクシー		29,240	29,485	▲ 245
協議会路線合計		<u>176,586</u>	<u>176,870</u>	<u>▲ 284</u>
伊那本線		17,842	17,814	28
定住自立圏事業計		17,842	17,814	28
市街地デジタルタクシー		24,480	21,047	3,433
協議会路線・定住自立圏路線合計 （市街地デジタルタクシーを除く）		194,428	194,684	▲ 256

令和6年度 伊那市地域公共交通協議会路線及び定住自立圏路線 利用者数推移グラフ

◆全体利用者数

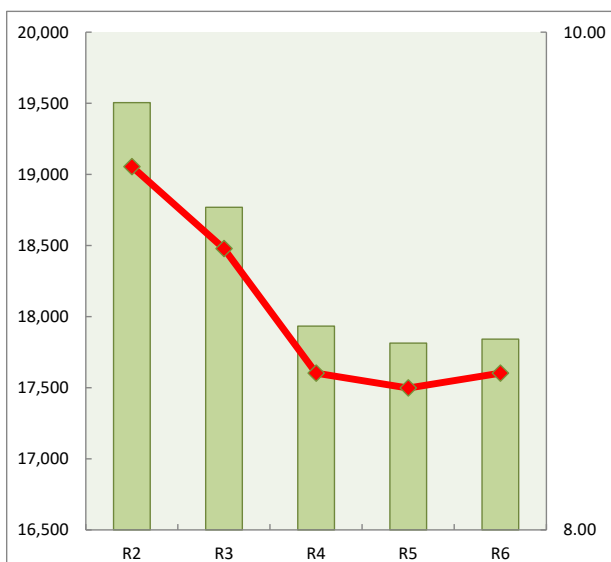
	R2	R3	R4	R5	R6
協議会路線	128,151	157,906	170,104	176,870	176,643
伊那本線	19,504	18,768	18,207	17,814	17,842
市街地循環 内回り	23,413				
合計	171,068	177,239	188,033	194,681	194,485



◆路線別

●定住自立圏路線 伊那本線

	R2	R3	R4	R5	R6
利用者数 (棒グラフ)	19,504	18,768	17,933	17,814	17,842
1運行当たり人数 (折線グラフ)	9.46	9.13	8.63	8.57	8.63



※ R1～市街地(外回り)14便、西箕輪線を協議会路線化

R2～ぐるっとタクシー(一部エリア運行開始)

お手軽乗り合いタクシー廃止

R3～市街地(内回り)を協議会路線化

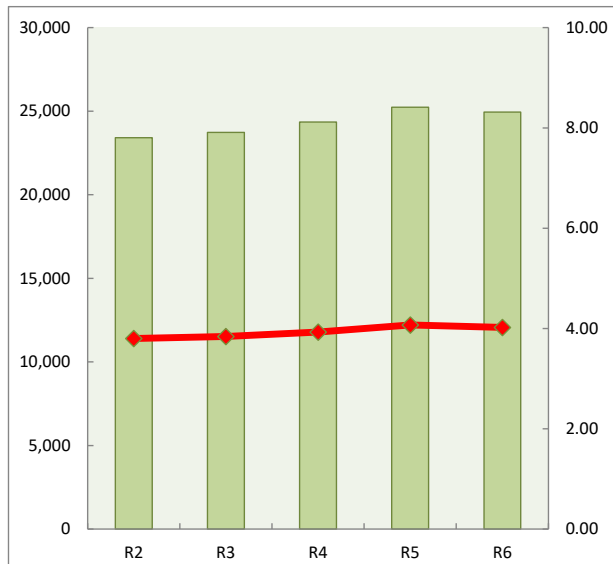
ぐるっとタクシーエリア拡大

富県・春近地区循環バス及び新山貝沼線、高遠循環タクシー廃止

長谷循環バス減便

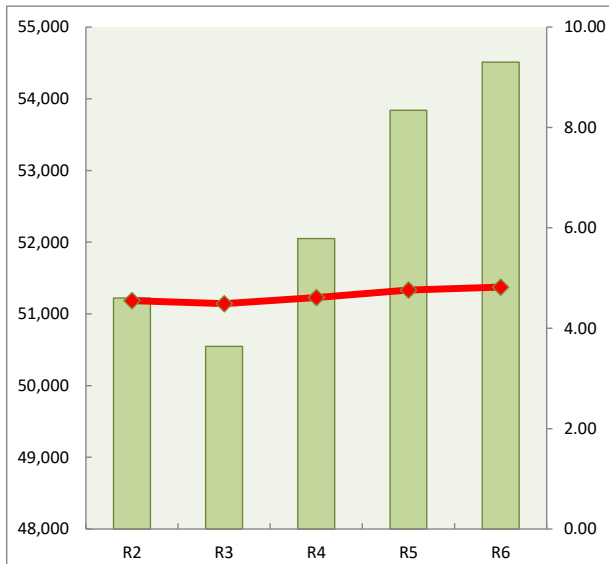
●市街地循環バス 内回り

	R2	R3	R4	R5	R6
利用者数 (棒グラフ)	23,413	23,725	24,347	25,240	24,951
1運行当たり人数 (折線グラフ)	3.80	3.84	3.93	4.07	4.02



●市街地循環バス 外回り

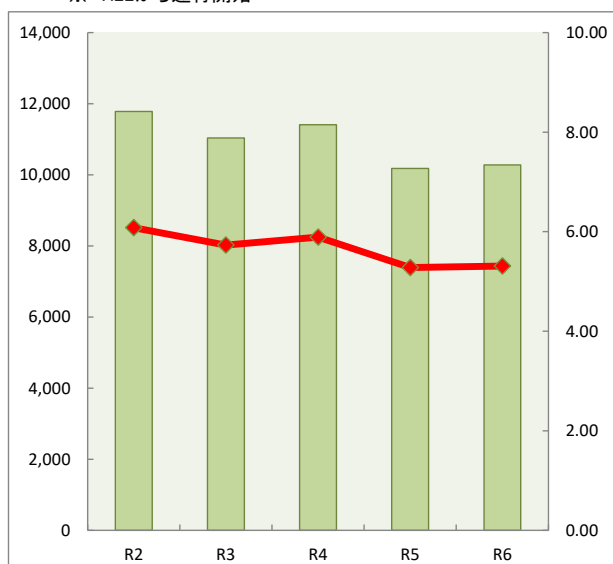
	R2	R3	R4	R5	R6
利用者数 (棒グラフ)	51,223	50,548	52,049	53,839	54,511
1運行当たり人数 (折線グラフ)	4.55	4.49	4.61	4.76	4.82



●市内西循環線

	R2	R3	R4	R5	R6
利用者数 (棒グラフ)	11,780	11,039	11,411	10,176	10,278
1運行当たり人数 (折線グラフ)	6.08	5.73	5.89	5.28	5.31

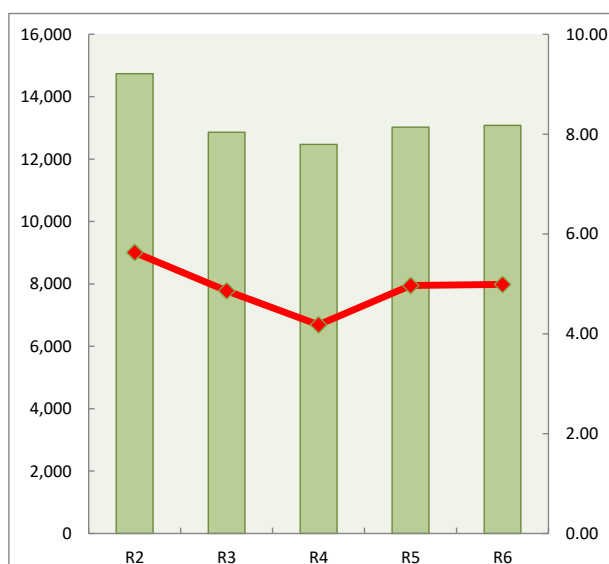
※ H22から運行開始



●若宮・美原線

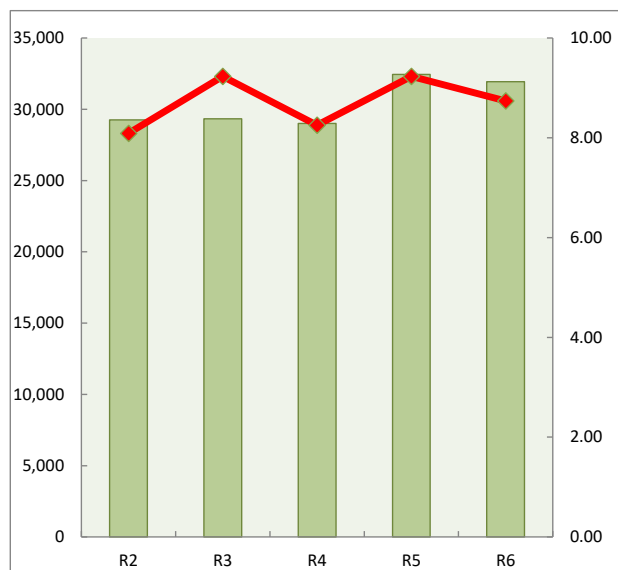
R3より手良・福島廃線

	R2	R3	R4	R5	R6
利用者数 (棒グラフ)	14,737	12,860	12,469	13,023	13,081
1運行当たり人数 (折線グラフ)	5.63	4.86	4.18	4.97	4.99



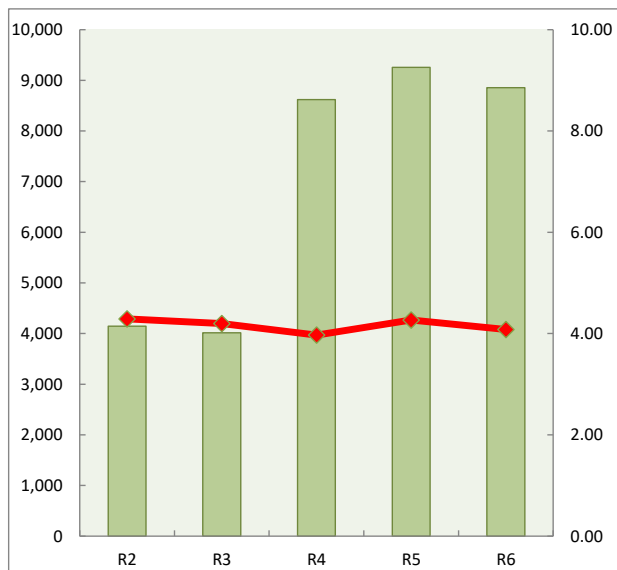
●西箕輪線(R1から協議会が運行)

	R2	R3	R4	R5	R6
利用者数 (棒グラフ)	29,251	29,334	29,011	32,451	31,928
1運行当たり人数 (折線グラフ)	8.09	9.23	8.25	9.23	8.74



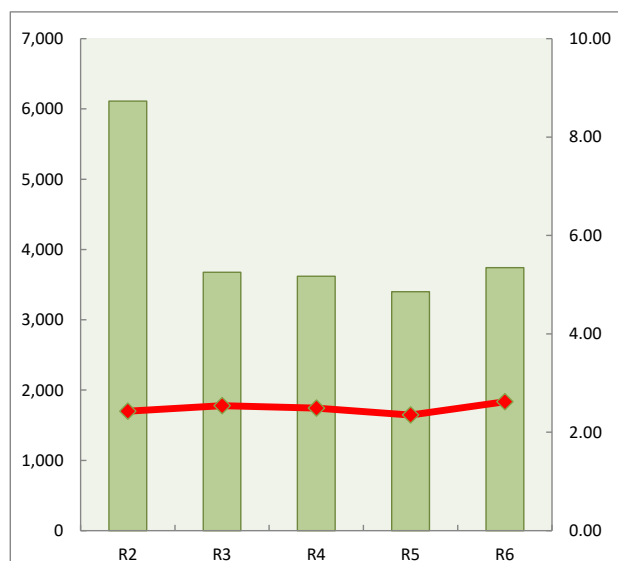
●藤沢線

	R2	R3	R4	R5	R6
利用者数 (棒グラフ)	4,146	4,014	8,621	9,256	8,854
1運行当たり人数 (折線グラフ)	4.29	4.20	3.97	4.27	4.08



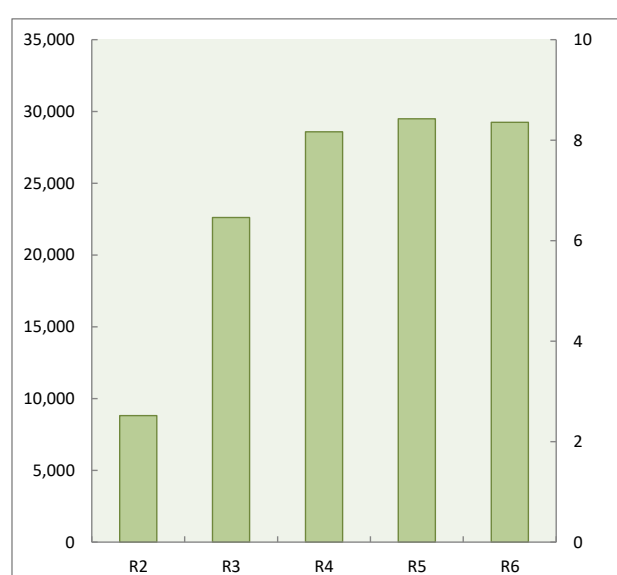
●長谷線

	R2	R3	R4	R5	R6
利用者数 (棒グラフ)	6,112	3,677	3,621	3,400	3,743
1運行当たり人数 (折線グラフ)	2.43	2.54	2.49	2.35	2.62



●ぐるっとタクシー

	R2	R3	R4	R5	R6
利用者数 (棒グラフ)	8,813	22,604	28,575	29,485	29,240



令和6年度 伊那市地域公共交通協議会 会計決算書

収入合計	254,515,169	円
支出合計	254,515,169	円
差引残額	0	円

1 収入

【単位:円】

款	項	予算額 (A)	収入額 (B)	差引き (B)-(A)	説明
1負担金	1負担金	280,049,000	254,487,159	△ 25,561,841	・伊那市負担金 242,997千円 ・南箕輪村負担金 8,824千円 ・教育委員会負担金2,635千円等
2諸収入	1諸収入	1,000	28,010	27,010	・預金利息
収入合計		280,050,000	254,515,169	△ 25,534,831	

2 支出

款	項	予算額 (A)	支出額 (B)	不用額 (A)-(B)	説明
1運営費	1会議費	300,000	91,239	208,761	・委員報酬等
	2事務費	100,000	73,480	26,520	・振込手数料等
2事業費	1事業費	279,150,000	254,350,450	24,799,550	・バス運行費用 130,335千円 (国庫補助金 9,102千円) ・タクシー運行費用 119,825千円 ・南箕輪村負担金 285千円 ・利用促進費他 689千円
4予備費	1予備費	500,000	0	500,000	
支出合計		280,050,000	254,515,169	25,534,831	

会 計 監 査 報 告

令和 6 年度伊那市地域公共交通協議会会計について監査したところ、諸帳簿、証拠書類とも整備され、適正に処理されていることを認めます。

令和 7 年 6 月 2 日

監査員 明尾 正行

監査員 伊藤 隆博

※明尾、伊藤両監査員には、報告書に自署・押印をいただいておりますが、
個人情報保護（印影）のため原本の添付は差し控えております。

令和 7 年度 伊那市地域公共交通協議会 事業計画（案）

1 交通ネットワークの構築・運行

【路線バス、乗合タクシーの運行】

区分	路線名	運行事業者
路線バス (6 路線)	① 市街地循環バス	伊那バス(株)：外回り 17 便、内回り 17 便 ジェイアールバス関東(株)：外回り 14 便
	② 市内西循環線	伊那バス(株)
	③ 若宮・美原線	
	④ 西箕輪線	
	⑤ 藤沢線	ジェイアールバス関東(株)
	⑥ 長谷線	
ぐるっと タクシー (3 ブロック) (6 エリア)	(北部エリア) ① 竜西・西箕輪地区 ② 竜東・美篤・手良地区 (南部エリア) ③ 春富地区 (東部エリア) ④ 河南・長谷地区 ⑤ 高遠町地区	伊那タクシー(株)、(有)白川タクシー、 ジェイアールバス関東(株)、 高遠観光タクシー(有) の 4 社による共同運行（12 台運用）

2 運行内容の検証・検討

(1) バスへの

(2) ぐるっとタクシー

- ・配車の最適化（乗合率の向上への取組）

- ・運賃見直し検討

3 利用促進事業

- (1) 運転免許自主返納者に係る運賃割引制度の継続
- (2) 広報活動（市報、ホームページ、ケーブルテレビ等によるPR）
- (3) 伊那市バス時刻表の作成・配布
- (4) バス育の実施（本年度は10園で実施予定）

4 その他

伊那市地域公共交通交会議・協議会の開催
年3回予定

令和7年度 路線バス・乗合タクシーの運行計画（協議会運行路線） 案

- ・バス6路線・・・藤沢線において、夏季ダイヤから冬季ダイヤへの移行時期を「10/1～」から「9/1～」に変更
- ・乗合タクシー・・・令和6年度と同様の運行内容（6・8号車を1台2人体制に変更）

路線名		運行事業者	運行日	便数	参考 (運賃)	備考
バ ス	市街地循環バス 「イーナちゃんバス」	伊那バス JRバス関東	毎日	外回り：31本 内回り：17本	定額150円	・外回り20分間隔運行 ・内回り40分間隔運行
	市内西循環線	伊那バス	月～金 (祝日運休)	8本	定額150円	
	● 若宮・美原線	伊那バス	毎日	月～土：8本 日祝：4本	対キロ制 (上限310円)	●フィーター補助活用
	西箕輪線	伊那バス	毎日	月水金：13本 火木：11本 土：7本 日祝：5本	対キロ制 (上限310円)	
	● 藤沢線	JRバス関東	月～金 (祝日運休)	上り：5本 下り：4本	対キロ制 (上限310円)	・季節ダイヤあり (下り18時台) ●フィーター補助活用
	● 長谷線	JRバス関東	月～金 (祝日運休)	上り：2本 下り：4本	定額310円	●フィーター補助活用
タ ク シ ー	ぐるっとタクシー	伊那タクシー 白川タクシー 高遠観光タクシー JRバス関東	月～金 (祝日運休)	9:00～15:00	定額500円	・ドアツードア運行 ・利用者登録制

令和7年度 伊那市地域公共交通協議会予算(案)

収入合計	280,773,000	円
支出合計	280,773,000	円
差引	0	円

1 収入

【単位:円】

款	項	予算額	前年度 予算額	増減額	説 明
1負担金	1負担金	280,772,000	280,049,000	723,000	・伊那市負担金(269,196千円) ・バス時刻表負担金(30千円) ・教育委員会負担金(2,200千円) ・南箕輪村負担金(西箕輪線7,196千円、 ぐるっとタクシー2,150千円)
3諸収入	1諸収入	1,000	1,000	0	・預金利息
収入合計		280,773,000	280,050,000	723,000	

2 支出

【単位:円】

款	項	予算額	前年度 予算額	増減額	説 明
1運営費	1会議費	300,000	300,000	0	・協議会開催
	2事務費	100,000	100,000	0	・振込手数料等
2事業費	1事業費	279,873,000	279,150,000	723,000	・バス運行経費 137,952千円 (国庫補助金 6,753千円) ・ぐるっとタクシー運行費 118,384千円 ・車両等整備費 4,808千円 ・新紙幣対応運賃箱・端末更新 4,400千円 ・広報・利用促進事業 3,352千円 ・南箕輪村負担金(まっくんバス300千円)等
4予備費	1予備費	500,000	500,000	0	
支出合計		280,773,000	280,050,000	723,000	

様式第 1－1（日本産業規格 A 列 4 番）

7 伊公協第 2 号
令和 7 年 6 月 30 日

国土交通大臣 殿

氏名又は名称 伊那市地域公共交通協議会
住 所 長野県伊那市下新田 3050 番地
代 表 者 氏 名 会長 飯 島 智

地域公共交通計画認定申請書

地域公共交通計画のうち、地域公共交通確保維持事業に係る計画を別紙のとおり定めたので、関係書類を添えて申請します。

※本申請書に、記載すべき事項を全て記した地域公共交通計画を添付すること。

令和 7 年 6 月 30 日

(名称) 伊那市地域公共交通協議会

1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性

面積が広く、河岸段丘等による地形の起伏が大きい伊那市の山間部にあっては、点在する集落から市街地までのアクセスに不便な地域が多い。

平成 18 年 3 月の市町村合併後、合併前の市町村（旧伊那市、高遠町、長谷村）ごとに行われていた独自の交通施策を調整するため、平成 20 年 2 月、「伊那市地域公共交通総合連携計画」を策定し、平成 20 年度から平成 22 年度までの 3 年間にわたり、地域公共交通活性化・再生総合事業を活用し、伊那市地域公共交通協議会が実証運行を行い、地域に適した公共交通の構築を進めてきた。

市内のうち、高遠町区域及び長谷区域は、過疎地域自立促進特別措置法及び山村振興法の適用区域である。ジェイアールバス関東（株）が運行し、高遠町・長谷両区域と市街地とを結ぶ唯一のバス路線である高遠線は、市街地の総合病院や大規模な商店等が市民の日常生活機能を担う中で、過疎化の進む両区域に居住する高齢者等を中心に、生活に必要不可欠な交通として機能している。また、高遠町区域に存する高遠高等学校への通学並びに高遠町・長谷両区域及び高遠線沿線地区から市街地の高等学校への通学、更には鉄道に乗り換えて郡内の高等学校に通学する学生にとっても欠くことのできない路線である。

伊那市においては、この地域間交通ネットワークである高遠線を軸に市街地と周辺地域を結ぶ路線バス、循環バス等により構成される公共交通機関網が広がっている。車を運転できない高齢者等の交通弱者にとって、これらの公共交通機関網は生活に不可欠な路線である。しかしながら、自家用車の普及により、多くの路線において利用者は減少を続け、収支悪化により路線の維持が困難になりつつある。

このため、令和 6 年 4 月伊那市地域公共交通計画を策定した。また地域公共交通確保維持事業に係る計画により、次の路線を確保・維持することで、住民の生活交通手段を存続させていくことが必要である。

- ・ 若宮・美原線
- ・ 藤沢線
- ・ 長谷線

また、上記の路線に加え、市街地を中心とした公共交通需要への対応及び周辺の交通空白地域の解消のため、市街地における循環バス、周辺地域における乗合タクシーを協議会が運行し、また、新たな公共交通の検討等を進めることで、市内の公共交通ネットワークの充実を図る。

2. 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果

(1) 事業の目標

「1運行」当たりの乗車人員について、令和8年度は令和7年度実績を維持する。以降の年度については、令和7年度の実績の維持または年1%程度の増加を目指す。

路線名	1運行当たり		
	R6 実績	⇒ R7 目標	⇒ R8 目標
・若宮・美原線	5.13 人	5.13 人	5.13 人
・藤沢線	4.11 人	4.11 人	4.11 人
・長谷線	2.47 人	2.47 人	2.47 人

◇若宮・美原線の利用者数を 12,700 人以上（直近年度の実績 13,415 人）とする。

◇藤沢線の利用者数を 8,950 人以上（直近年度の実績 8,892 人）とする。

◇長谷線の利用者数を 3,400 人以上（直近年度の実績 3,553 人）とする。

◇補助対象路線に係る収入を 3,700 千円以上、国からの支出を 10,000 千円以内、伊那市地域交通協議会からの支出を 33,000 千円以内とする。

◇路線の収支率を

若宮・美原線（R6 年度の実績 14.01%）

藤沢線、長谷線（R6 年度の実績 2.72%）とする。

8.5%以上（直近年度の実績 R6 年度 7.43%）とする。

（伊那市地域公共交通計画 P30～32 参照）

(2) 事業の効果

藤沢線、長谷線を維持することにより、高遠長谷地区の高齢者等の日常生活や、通学に必要な移動手段が確保される。また、若宮美原線では通勤に利用され、幹線・支線のネットワークが連携することで、市街地への移動につながり、効率的な運行体系が実現でき外出促進・地域活性化にもつながる。

3. 2. の目標を達成するために行う事業及びその実施主体

(1) 保育園児向けのバスに関する教育(バス育)の実施(伊那市公共交通協議会)
市内保育園で実際の路線バス車両を用いて、園児の乗車体験や乗り方教室を行い、

幼少期から公共交通に慣れ親しむ機会をつくる。

(2) 運転免許自主返納者に係る運賃割引制度(伊那市公共交通協議会)

(3) 広報活動(伊那市公共交通協議会)

(4) 伊那市バス時刻表の作成(伊那市公共交通協議会)

・ドライバー不足や経費を削減するための便数やダイヤの見直し、高校再編に伴う

系統の見直しを行う。

4. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び 運送予定者
表 1 を添付
5. 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額 伊那市地域公共交通協議会から運行事業者への補助金額については、運行収入及び国庫補助金を運行経費から差し引いた差額分を負担することとしている。 令和 6 年度 (R5.10.1~R6.9.30) 補助路線の運行経費総額は、43,688 千円となっている。
6. 2. の目標・効果の評価手法及び測定方法
・ 運行実績データ ・ 市民アンケート ・ いきいき教室等での聞き取り
7. 別表 1 の補助対象事業の基準ホただし書に基づき、協議会が平日 1 日当たりの運行回数が 3 回以上で足りると認めた系統の概要 <u>【地域間幹線系統のみ】</u>
※該当なし
8. 別表 1 の補助対象事業の基準ニに基づき、協議会が「広域行政圏の中心市町村に準ずる生活基盤が整備されている」と認めた市町村の一覧 <u>【地域間幹線系統のみ】</u>
※該当なし
9. 生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項 <u>【地域間幹線系統のみ】</u>
※該当なし
10. 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要 <u>【地域内フィーダー系統のみ】</u>
表 5 を添付。
11. 車両の取得に係る目的・必要性 <u>【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】</u>
※該当なし
12. 車両の取得に係る定量的な目標・効果 <u>【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】</u>
(1) 事業の目標

※該当なし
(2) 事業の効果
※該当なし
13 車両の取得計画の概要及び車両の取得を行う事業者又は地方公共団体、要する費用の総額、負担者とその負担額【 <u>車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ</u> 】
※該当なし
14. 老朽更新の代替による費用の削減等による地域公共交通確保維持事業における収支の改善に係る計画（車両の代替による費用削減等の内容、代替車両を活用した利用促進策） 【 <u>公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ</u> 】
※該当なし
15. 貨客混載の導入に係る目的・必要性 【 <u>貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ</u> 】
16. 貨客混載の導入に係る定量的な目標・効果 【 <u>貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ</u> 】
(1) 事業の目標
※該当なし
(2) 事業の効果
※該当なし
17. 貨客混載の導入に係る計画の概要、要する費用の総額、内訳、負担者及び負担額【 <u>貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ</u> 】
※該当なし
18. 協議会の開催状況と主な議論

R6.6.21(第1回協議会)書面協議 地域公共交通確保維持事業に係る計画について
R6.7.12(第2回協議会)R5 事業報告・決算報告、R6 事業計画・予算、長谷循環バスの路線名
およびバス停名称の変更について 協議・合意
EV バス導入について 報告他
R7.1.10(第3回協議会)書面協議 生活確保維持改善計画事業評価について 協議・合意
茅野・藤沢線名称変更について
R7.2.20(第4回協議会)R6 運行状況・ R7 運行計画について
伊那市地域公共交通会議設置要綱の改正及び運賃協議会要領の制
定につ
いて
高遠線の運行について

19. 利用者等の意見の反映状況

・ホームページでの意見募集、市民アンケート、乗合タクシー利用者へのアンケートを実施。公共交通の情報を日常生活のなかで、見聞きできる場所から発信し利用の促進を図り改善していく

【本計画に関する担当者・連絡先】

(住 所) 長野県伊那市下新田 3050 番地
(所 属) 伊那市地域公共交通協議会
(伊那市企画部企画政策課)
(氏名) 田中元喜
(電 話) 0265-78-4111 (内線 2145
(e-mail) kij@inacity.jp

注意： 本様式はあくまで参考であり、補助要綱の要件を満たすものであれば、この様式によらなくても差し支えありません。

実際の計画作成に当たっては補助要綱等を踏まえて作成をお願いいたします。

各記載項目について、地域公共交通利便増進実施計画及び地域旅客運送サービス継続実施計画を作成している場合には、当該計画から該当部分を転記したり、別添〇〇計画△節のとおり、等として引用したりすることも可能です。(ただし、上記2.・3.については、地域公共交通利便増進実施計画及び地域旅客運送サービス継続実施計画に定める目標、当該目標を達成するために行う事業及びその実施主体に関する事項との整合性を図るようにして下さい。また、地域公共交通計画全体として、協議会における協議が整った上で提出される必要があります)。

※該当のない項目は削除せず、「該当なし」と記載して下さい。

地域間幹線系統別確保維持計画

令和 7 年 6 月 1 0 日

(住 所) 東京都江東区塩浜 2-18-13
(名 称) ジェイアールバス関東株式会社
(代表者名) 代表取締役社長 小堀 隆一 印

1. 幹線系統名、区間及び計画期間

系 統 名 : 高遠線
運 行 区 間 : J R バス車庫前～高遠
計 画 期 間 : 令和 7 年 1 0 月 1 日～令和 1 0 年 9 月 3 0 日

2. 幹線系統の運行に係る目的・必要性（生活交通路線である理由・路線の状況）

本系統は、伊那市中心部と旧高遠町中心部、隣接する南箕輪村（上伊那農業高等学校）を結ぶ地域間幹線交通として、各市町村民の生活を支える重要な移動手段となっている。また、当該地域には国内有数の観桜名所である高遠城址公園があり、観光客など地域外からの来訪者の移動手段としても利用されている。

本系統の運行区間内では、伊那北駅にて J R 飯田線と接続し、伊那バスターミナルでは東京方面・名古屋方面への高速バスおよび市街地循環バスなどの域内交通との乗り換えが可能である。鉄道網のない高遠地区と伊那市中心部を結ぶ唯一の公共交通機関として、鉄道・高速バス・その他の路線バスと連携し、沿線住民の日常生活における移動を支援している。

運行経路の沿線には、官公庁、高等学校、金融機関、総合病院、商業施設が多数存在するため、時間帯や曜日に応じて需要のある拠点を經由できるよう、多様な系統を運行し、利用者の利便性向上に努めている。また、観桜期の高遠城址公園周辺では地域外観光客の乗用車による道路混雑が常態化していることから、伊那市と連携して本系統の増発を行い、観光客の公共交通利用を促進している。

地域に居住する高齢者の増加や高校生の通学手段確保を考慮すると、本系統は将来的にも欠かせない移動手段であると想定される。特に伊那市においては高齢化が進行し、今後も高齢者人口の増加が予測されている。さらに、運転免許証自主返納の動きが広がる中、高齢者の買い物や通院などの外出を促進するため、本系統の確保・維持は地域住民の生活交通手段として極めて重要な役割を果たしている。

3. 幹線系統の運行に係る定量的な目標及び効果

(1) 運行の目標

生活路線として、利用が多い高齢者や学生を中心に利便性の良い公共交通サービスを継続的に提供し、輸送量 15.0 以上を維持する。

(2) 運行による効果

本システムを維持することにより、2市村の高齢者や学生等の移動手段が確保される。
幹線および支線のネットワークが連携することで効率的で機能的な公共交通網を実現でき、買い物・通院・社会参加といった日常生活に必要な外出や移動を支援する効果が期待できる。

4. 3の目標を達成するために行う事業及びその実施主体

伊那市・南箕輪村とジェイアールバス関東株式会社が主体となり、各市村のコミュニティバスとの連携により利便性の向上を図る。

○利用増を目的としたPR事業の実施（市村）

中心的な利用者である高齢者や本系統沿線の高校に通う高校生に対して、公共施設等で公共通路線図や時刻表を配布し、引き続き利用促進のPR活動を実施する。

○Google マップへの路線掲載継続（事業者）

特に地域外からの利用者に対するバスの利便性向上を目的とし、Google マップで目的地を検索した際に本系統の運行時間や運行経路、停留所の位置が表示される仕様となっている。将来的には、バスの現在位置や運行状況の表示も可能とする。

○スマホアプリによるデジタル定期券発行（事業者）

高校生や通勤客等の利便性向上を図るため、スマートフォンのアプリケーション（バスもり！）で定期券を購入できるサービスを継続運用する。

○ワンステップバスからノンステップバスへの車両代替（事業者）

県有民営バスの貸付け制度を活用し、経年劣化したワンステップバスから高齢者でも利用しやすい新車のノンステップバスへ代替し、快適な移動空間を実現する。

5. 費用負担額

補助対象期間	欠損見込額※	負担額			
		国	県	市町村	事業者
R7.10～R8.9	円 24,439,846	円 6,071,000	円 6,071,000	円 0	円 12,297,846
R8.10～R9.9	円 24,439,846	円 6,071,000	円 6,071,000	円 0	円 12,297,846
R9.10～R10.9	円 24,439,846	円 6,071,000	円 6,071,000	円 0	円 12,297,846

※欠損見込額とは、補助対象経常費用の見込額から経常収益の見込額を控除した額

6. 収益改善のために行った取組状況

○伊那市域全体の時刻表や乗り換えマップ等の無料配布

○高齢者でも乗降しやすいバリアフリー車両（ノンステップバス／ワンステップバス・車いすの車内固定）の運行

○市村内高校にて、スマホアプリで使用可能なデジタル定期券の利用促進チラシ配布

○運賃改定実施による運賃収入の増加（R7.4.1～）

7. 生産性を向上する取組
(1) 取組内容
○鉄道（ＪＲ飯田線）との乗り継ぎを意識し、接続確保や乗客のニーズに合わせたダイヤの見直し等を行うことで沿線住民の路線バス利用者数増加を図る。 ○職場内研修等によるエコ運転を実施し、燃料費等の経費削減を図る。 ○学期定期券の導入により、高校生の通学における路線バス利用増加を図る。 ○観桜期に増便し、域外観光客の公共交通利用による域内周遊を図る。
(2) 実施主体
ジェイアールバス関東株式会社
(3) 定量的な効果目標（収支改善率１％以上を原則）
上記の取り組みを実施することにより収支率を対前年１％以上の改善。
(4) 実施に向けたスケジュール
令和７年１０月～効果目標（収支改善率１％以上）達成に向け随時協議を行う。 令和８年４月に高遠城址公園での「高遠さくらまつり」に合わせた増便を実施。 令和８年６月を目途に乗降調査を実施。 通年において時刻表及び市内路線図の配布。
(5) 実施時期
上記の日程で実施
(6) その他特記事項
8. 広域行政圏の中心市町村に準ずる市町村であるという相当の理由について
【地域公共交通確保維持改善事業補助金交付要綱別表５に定める広域行政圏の中心市町村以外へアクセスする路線の場合に記入】

【本計画に関する担当者・連絡先】

(住 所) 伊那市山寺 1 7 6 5

(所 属) ジェイアールバス関東(株)伊那支店

(氏 名) 平澤 剛

(電 話) 0265-73-7171

(F A X) 0265-72-7999

(e-mail) ina@jrbuskanto.co.jp

地域間幹線系統に係る市町村等の協議状況

令和7年6月10日

(住所) 東京都江東区塩浜2-18-13
(名称) ジェイアールバス関東株式会社
(代表者名) 代表取締役社長 小堀 隆一 印

1. 幹線系統名、区間及び計画期間

系 統 名 : 高遠線
運 行 区 間 : JRバス車庫前～高遠
計 画 期 間 : 令和7年10月1日～令和10年9月30日

2. 協議会等の開催状況

令和7年2月20日 伊那市地域公共交通活性化協議会
令和7年3月19日 南箕輪村地域公共交通協議会
令和7年6月26日 伊那市地域公共交通活性化協議会 開催予定

3. 協議会等における主な議論

高遠線は、住民生活の移動手段として欠かせない交通手段となっているため、安定的な運行継続が必要である。また、運行地域の高齢化率は高く、運転免許証返納者も増加しており、外出する際の交通機関として必要不可欠な路線となっている。

その中で、持続可能な公共交通を目指し、収支状況改善を図るためには地域幹線系統補助対象路線として位置付け、路線を維持していただきたい。

4. 利用者等の意見の反映

伊那市地域公共交通計画策定時の利用者からの声では、「便利でありがたい」「便数をもっと増やしてほしい」等の意見があることから、関係機関が連携して利用促進を図ることで、高遠線を継続的に運行していきたい。

5. 協議会等による利用促進等の取組

幹線系統の運行に係る定量的な目標及び効果を達成するため、利用者の意見を聞くことで利便性の高い公共交通サービスを目指す。また、協議会として更に協議を深めるとともに新たな利用者を増やすため、バス利用のPR事業も実施していく予定。

6. 前期の利用促進等の取組の振り返り

- 伊那市発行の伊那市バス時刻表への記載による利便性向上の取組
- 上伊那農業高校生通学用回数券の発売による利用促進の取組
- 低床バスの運行

7. 協議会メンバーの構成員	
関係都道府県	長野県企画部・長野県上伊那地域振興局
関係市区町村	伊那市企画部企画政策課
交通事業者・交通施設管理者等	ジェイアールバス関東株式会社伊那支店・伊那バス株式会社・長野県タクシー協会諏訪上伊那支部・伊那バス労働組合・長野県伊那建設事務所・伊那警察署
地方運輸局	北陸信越運輸局・北陸信越運輸局長野運輸支局
その他協議会が必要と認める者	伊那市社会福祉協議会・伊那商工会議所・伊那市観光協会・信州大学・伊那地区区長会・高遠地区区長会・長谷地区区長会・伊那市女性団体連絡協議会・伊那市高齢者クラブ連合会

7. 協議会メンバーの構成員	
関係都道府県	長野県企画部・長野県上伊那地域振興局
関係市区町村	南箕輪村地域づくり推進課
交通事業者・交通施設管理者等	ジェイアールバス関東株式会社伊那支店・伊那バス株式会社・有限会社白川タクシー・伊那バス労働組合・長野県伊那建設事務所・伊那警察署
地方運輸局	北陸信越運輸局長野運輸支局
その他協議会が必要と認める者	南箕輪村福祉課・南箕輪村社会福祉協議会・南箕輪村区長会

伊那市地域公共交通計画事業評価 目標と実績

①目標 地域のすみずみまでカバーし、まちとつながり、日常生活を支える公共交通

目 標 と 指 標		使用データ	取得年次	現況値 (令和4年度)	5年度	6年度	7年度	中間年 (8年度)	9年度	目標値 (令和10年度)
1-①	地域公共交通の利用者数	運行実績データ	毎年	204千人	216千人	219千人				204千人
実績値に関する考察						事業評価	今後の方針			
■協議会運営路線の利用者数合計が令和4年度の水準を維持 ○コロナ禍で減少したバス路線の利用者も徐々に回復、デマンドタクシーについてはエリアを拡大しながら利用者増につながっている。 R6バス路線利用者数 165,199人 デマンドタクシー 運賃補助利用者 50,532人						A	■公共交通の利用者は年々増加となっているが、ぐるとタクシーの利用者は運行開始以来初めて前年の利用者数を下回った。今後は横倍に推移するとみられるが、運行の見直しや路線バスとの連携により効率の良い運行を行い利用者増につなげる。			

②目標 使いやすく、おでかけしなくなる公共交通

目 標 と 指 標		使用データ	取得年次	現況値 (令和4年度)	5年度	6年度	7年度	中間年 (8年度)	9年度	目標値 (令和10年度)
2-①	市街地循環バスの利用率	市民アンケート	中間年 最終年	—	5.8%	—	—			7.0%
2-②	公共交通の充足に関する意識調査	市民アンケート	中間年 最終年	—	-17.5%	—	—			0%
実績値に関する考察						事業評価	今後の方針			
■市街地循環バスの利用率 「6か月以内に利用した」市民の割合が現況水準より上昇 P40 ■公共交通の充足度に関する市民意識 「公共交通が充足している」-「不足している」がプラスに P43 ○令和8年度 市民アンケートを実施し、現況と比較						—	■市民アンケートの結果、市街地循環バスの利用状況は、市民全体で94%が半年間に「一度も利用していない」と回答しており、利用の促進を図る。また公共交通の整備について長谷地区での「不足している」という意識が高く時間的な交通空白について検討する。			

③目標 各地とつながり、交流やまちの賑わいを支える公共交通

目 標 と 指 標		使用データ	取得年次	現況値 (令和4年度)	5年度	6年度	7年度	中間年 (8年度)	9年度	目標値 (令和10年度)
3-①	主要観光施設の入込客数	長野県観光統計	毎年	108万人	124万人					155万人
3-②	1日乗車券の販売枚数	年間販売数	毎年	—	—	—				
実績値に関する考察						事業評価	今後の方針			
■主要観光施設の入込客数がコロナ禍前の令和元年度の水準に回復 ■1日乗車券販売 ○観光施設への入込客数は増加傾向にあり公共交通との連携により双方の増加が期待される。1日乗車券の販売については、実施の必要性についてさらに検討が必要。						B	■1日乗車券の販売により、利用者数が増加するのか。利用促進の効果があるのか検証が必要。			

④目標 これからもずっと続いていく公共交通

目 標 と 指 標		使用データ	取得年次	現況値 (令和4年度)	5年度	6年度	7年度	中間年 (8年度)	9年度	目標値 (令和10年度)
4-①	行政負担額	運行事績データ	毎年	303百万円	343百万円	360百万円				330百万円
4-②	協議会路線の事業収支	運行実績データ	毎年	12.0%	12.3%	12.7%				14%
4-③	公共交通を地域全体で支える市民意識	市民アンケート	中間年 最終年	—	35.4%	—	—			45.0%
実績値に関する考察						事業評価	今後の方針			
■令和4年度の現行水準をおおむね維持し、社会環境の変化を勘案し1割増 ■協議会路線の収支 現行水準（令和4年度）を維持 ■「地域公共交通を地域全体で支える」意識 現行水準（令和5年度）から上昇 P44 ○運行経費が年々増加しているが、本年も委託料の見直しや運賃箱の改修等経費が増加する要素がある。「公共交通を地域全体で支える市民意識」は市民アンケートにより「地域住民で負担」が最も多いが交通不便者には「運賃値上げ」の回答が多かった。						B	■燃料価格の見直し等物価高騰に対応しながら収支改善に取り組む。 ぐるっとタクシーやデジタルタクシーの利用者は増加し予約が取りづ らい状況もあり、一部利用者からは運賃が上がってもよいという回答 もあり交通不便者ほどその傾向があった。運賃の見直しの検討を行う			

1 現状・目標

- 現状 … 利便性向上のため、**県が運行経費を支援しR7年度から4往復⇒7往復に増便**
- 目標 … 年間乗車人数**80,000人**（R6実績45,683人、R元年実績101,710人（8往復））

1か月あたりの乗車人数（単位：人）

	4月	5月
R6年度(A)	4,085	4,257
R7年度(B)	4,451	5,189
増減率 (B/A)	9%増	22%増

1便あたりの平均乗車人数（単位：人）

	4月	5月
R6年度	17.0	17.2
R7年度	10.6	12.0

目的達成には毎月**75%増**が必要

2 課題と今後の対策

■ 課題

- ・コロナ禍前に利用していた乗客が、増便後に戻ってきていない（自家用車への転換、テレビ会議の普及等）
- ・みすずハイウェイバス自体や、増便により利便性が向上したことなどの周知不足
- ・みすずハイウェイバスを利用して行くことができる観光地など、目的地と関連付けた情報発信の不足

■ 今後の対策

- ・地域別部会等において、利用状況の分析、利用につながる情報発信、利用促進策の検討を実施
- ・併せて、市町村内の拠点と高速バス停を結ぶコミュニティバス等との接続、高速バス停周辺の駐車場の整備など、利便性向上につながる取組を実施

みすず ハイウェイバス ダイヤが増えました!

みすずハイウェイバスとは・・・
南は飯田市から北は長野市までの
県内16市町村を結ぶ
とても便利な高速バスです。



アルピコ交通



信南交通



伊那バス

長野県PRキャラクター
「アルクマ」©長野県アルクマ

2025年4月1日より、1日4往復から7往復に増便っ!

通勤・通学に、観光に、買い物に、帰省に
みすずハイウェイバスを、ぜひご利用ください!!



SHINNAN

 **伊那バス株式会社**

アルピコ交通株式会社

協力 長野県

みすずハイウェイバスの時刻表や予約方法は
ウラ面をご覧ください。

時刻表・運賃

みすずハイウェイバスは予約制となります。

飯田・駒ケ根・伊那 ↓ 長野	運賃(大人) 長野地区まで片道		便番号	111	113	117	119	121	123	125
			運行会社	伊那バス	アルピコ	伊那バス	信南	アルピコ	アルピコ	アルピコ
	3,600	乗	飯田駅前	5:05	6:25	8:45	11:25	13:45	15:45	18:05
	3,500	乗	伊賀良	5:18	6:38	9:01	11:41	14:01	16:01	18:21
	3,500	乗	上飯田	5:24	6:44	9:07	11:47	14:07	16:07	18:27
	3,300	乗	高森	5:29	6:49	9:12	11:52	14:12	16:12	18:32
	3,200	乗	松川	5:36	6:56	9:19	11:59	14:19	16:19	18:39
	3,000	乗	飯島	5:44	7:04	9:27	12:07	14:27	16:27	18:47
	2,800	乗	中央道駒ヶ根インター	5:52	7:12	9:35	12:15	14:35	16:35	18:55
	2,800	乗	中央道宮田	5:56	7:16	9:39	12:19	14:39	16:39	18:59
	2,600	乗	中央道西春近	6:00	7:20	9:43	12:23	14:43	16:43	19:03
	2,500	乗	中央道伊那インター	6:05	7:25	9:48	12:28	14:48	16:48	19:08
	2,400		中央道箕輪	6:10	7:30	9:53	12:33	14:53	16:53	19:13
	2,200		中央道辰野	6:16	7:36	9:59	12:39	14:59	16:59	19:19
	2,100		中央道川岸	6:22	7:42	10:05	12:45	15:05	17:05	19:25
			↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
	1,900		長野道岡谷	↓	7:49	10:12	12:52	15:12	17:12	19:32
	1,700		長野道みどり湖	6:33	7:56	10:19	12:59	15:19	17:19	19:39
	1,700		長野道広丘野村	6:37	8:00	10:23	13:03	15:23	17:23	19:43
	1,600		長野道神林	6:42	8:05	10:28	13:08	15:28	17:28	19:48
	1,600		長野道松本	6:47	8:10	10:33	13:13	15:33	17:33	19:53
	1,400		長野道安曇野	7:07	8:40	11:03	13:43	16:03	18:03	20:23
	1,300		長野道明科	7:10	8:43	11:06	13:46	16:06	18:06	20:26
	1,300		長野道四賀	↓	↓	11:09	13:49	16:09	18:09	20:29
	900		長野道坂北	↓	↓	11:18	13:58	16:18	18:18	20:38
	600		長野道姨捨	↓	↓	11:29	14:09	16:29	18:29	20:49
		降	長野インター前	7:48	9:21	11:49	14:24	16:49	18:49	21:04
		降	川中島古戦場	7:51	9:24	11:52	14:27	16:52	18:52	21:07
		降	丹波島橋南	8:03	9:36	12:04	14:34	17:09	19:09	21:14
		降	長野バスターミナル	8:08	9:41	12:09	14:39	17:14	19:14	21:19
		降	長野駅⑦	8:09	9:42	12:10	14:40	17:15	19:15	21:20
		降	昭通④	8:14	9:47	12:15	14:45	17:20	19:20	21:25
		降	長野県庁④	8:15	9:48	12:16	14:46	17:21	19:21	21:26

長野 ↓ 飯田・駒ケ根・伊那	運賃(大人) 飯田駅前まで片道		便番号	12	14	16	18	20	22	26
			運行会社	アルピコ	アルピコ	アルピコ	伊那バス	アルピコ	伊那バス	信南
	3,600	乗	長野駅⑦	6:30	8:40	11:40	12:40	15:40	16:40	18:10
	3,600	乗	昭通④	6:35	8:45	11:45	12:45	15:45	16:45	18:15
	3,600	乗	長野県庁④	6:36	8:46	11:46	12:46	15:46	16:46	18:16
	3,600	乗	長野バスターミナル	6:41	8:51	11:51	12:51	15:51	16:51	18:21
	3,600	乗	丹波島橋南	6:47	8:57	11:57	12:57	15:57	16:57	18:27
	3,600	乗	川中島古戦場	6:54	9:04	12:04	13:04	16:04	17:04	18:34
	3,600	乗	長野インター前	6:57	9:07	12:07	13:07	16:07	17:07	18:37
	3,000		長野道姨捨	7:12	9:22	12:22	13:22	16:22	17:22	18:52
	2,800		長野道坂北	7:23	9:33	12:33	13:33	16:33	17:33	19:03
	2,500		長野道四賀	7:32	9:42	12:42	13:42	16:42	17:42	19:12
	2,400		長野道明科	7:35	9:45	12:45	13:45	16:45	17:45	19:15
	2,400		長野道安曇野	7:38	9:48	12:48	13:48	16:48	17:48	19:18
	2,200		長野道松本	8:08	10:18	13:18	14:18	17:18	18:18	19:48
	2,100		長野道神林	8:13	10:23	13:23	14:23	17:23	18:23	19:53
	2,000		長野道広丘野村	8:18	10:28	13:28	14:28	17:28	18:28	19:58
	1,900		長野道みどり湖	8:22	10:32	13:32	14:32	17:32	18:32	20:02
	1,800		長野道岡谷	8:29	10:39	13:39	14:39	17:39	18:39	20:09
			↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
	1,600		中央道川岸	8:36	10:46	13:46	14:46	17:46	18:46	20:16
	1,400		中央道辰野	8:42	10:52	13:52	14:52	17:52	18:52	20:22
	1,300		中央道箕輪	8:48	10:58	13:58	14:58	17:58	18:58	20:28
		降	中央道伊那インター	8:53	11:03	14:03	15:03	18:03	19:03	20:33
		降	中央道西春近	8:58	11:08	14:08	15:08	18:08	19:08	20:38
		降	中央道宮田	9:02	11:12	14:12	15:12	18:12	19:12	20:42
		降	中央道駒ヶ根インター	9:06	11:16	14:16	15:16	18:16	19:16	20:46
		降	飯島	9:12	11:22	14:22	15:22	18:22	19:22	20:52
		降	松川	9:20	11:30	14:30	15:30	18:30	19:30	21:00
		降	高森	9:27	11:37	14:37	15:37	18:37	19:37	21:07
		降	上飯田	9:32	11:42	14:42	15:42	18:42	19:42	21:12
		降	伊賀良	9:37	11:47	14:47	15:47	18:47	19:47	21:17
		降	飯田駅前	9:52	12:02	15:02	16:02	19:02	20:02	21:32

※こども運賃は大人の半額(10円単位に切り上げ)です。※途中、梓川サービスエリアにて10～20分の休憩を行います。
※運行の都合上、渋滞などにより運転時間が長時間となった場合には、休憩時間の延長や追加の休憩(2回目)をさせていただきます。
※一部区間においては、往復割引運賃・回数券もございます。
運行形態：高速乗合バス 運行会社：信南交通/伊那バス/アルピコ交通 実車距離：166km 所要時間：3時間10分～36分 運転者：1名乗務 任意保険：対人賠償無制限

《観光に!》飯田～長野 モデルコース(土休日Ver)

飯田駅発6:25→長野駅着9:42 ▶ 善光寺線びんずる号 長野駅①乗り場発10:20→善光寺大門着10:30頃
▶ 善光寺北発15:31→長野駅着15:48 ▶ 長野駅⑦乗り場発16:40→飯田駅着20:02

《ビジネス・帰省に!》長野～飯田 モデルコース

長野駅⑦乗り場発6:30→飯田駅着9:52 ▶ 飯田市内滞在10:30～17:30 ▶ 飯田駅前18:05→長野駅21:20

ご予約・お支払い方法について
事前にご予約の上、ご利用お願い致します。

- 乗車日同日1ヶ月前(WEBは0:00より・電話は各予約センター開始時刻より) 受付開始
- 往復割引乗車券・回数券は窓口のみの発売となります(バス車内での発売はございません)
- その他、詳細につきましては、各運行会社予約センター及びHPにてご確認お願い致します。

WEB予約

発車オーライネット(受付時間5:00～翌2:00)

電話予約・お問合せ



発車オーライネット
www.j-bus.co.jp

信南交通飯田予約センター 0265-25-0007 (受付時間 9:00～17:00)
伊那バス伊那予約センター 0265-78-0007 (受付時間 8:00～18:00)
アルピコ交通高速バス予約センター 0570-550-373 (受付時間 平日 9:00～17:00)

信南交通HP

伊那バスHP

アルピコ交通HP